

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

山地災害に備える ～山地災害防止キャンペーン(5月20日～6月30日)～ 「木を育て 森を育み 土砂防ぐ」

林野庁では、「山地災害に備える」を合言葉に、山地災害防止キャンペーンを実施しています。



近年、山地崩壊・土石流・地すべり等の山地災害が多発し、人命や財産に甚大な被害がもたらされています。梅雨期を迎え、林野庁では、都道府県・市町村と協力し、全国それぞれの地域において、関係機関や地域住民の皆様などの協力を得ながら、危険箇所の周知や山地防災パトロールの実施など、山地災害を未然に防止する「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

日本の国土は、四季をもち豊かな緑に恵まれています。一方で様々な気象現象や地形・地質の特徴から、梅雨前線や台風に伴う集中豪雨による山地災害が起りやすい状況にあります。

例えば、いまから 50 年前の昭和 42 年 7 月、兵庫県の六甲山系では活発化した梅雨前線により最大 1 時間雨量 75.6 mm、傘をさして歩けないような豪雨となり鉄砲水が各所で発生、神戸市南部を中心に 2,500 箇所以上の山崩れが発生、河川の氾濫などで、犠牲者 98 人、被災家屋 3 万 8,305 戸にのぼる被害となりました。



※ 写真は、昭和 42 年の豪雨による被災状況



※ 写真は現在の六甲山系で実施された治山工事



その後、国や兵庫県、関係市などにより復旧が進められ、六甲山系の国有林を管轄する兵庫森林管理署においても神戸市、芦屋市、西宮市に所在する 9 箇所の国有林において、復旧、予防を目的として治山工事を実施しています。災害発生から 50 年を迎え、これまでに整備した治山ダムは 154 基、山腹工は 7ha にのぼります。

このような災害から命を守るためには、日頃の備えや早めの避難が重要です。

六甲山系の豪雨災害など過去の山地災害を教訓として、身近な所に山地災害が起こりやすいところがあるのか、また避難場所などを地域の防災マップなどで確認しておく、雨が降り出したら、気象情報や警戒情報に注意するなど、ふだんからの取り組みが役立ちます。



- ときどき落石がある
- 過去に山くずれがあった
- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく、くずれやすい地質である
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である

【山くずれ】

雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。



- 過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- 山の斜面に亀裂や段差がみられる
- わき水や地下水が豊富である
- 断層や、もろく、くずれやすい岩石がある
- 火山や温泉の影響で粘土化した土がある

【地すべり】

地下水などの影響により、粘土質の土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。



- 過去に土石流があった
- 溪流が急で大きな石やたくさんの土砂がある
- 上流が山くずれなどで荒れている

【土石流】

山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水といっしょに一気に下流に押し流される現象です。



8つの危険信号に注意して下さい。



危険信号をキャッチしたら

山くずれなどのおそれがある箇所では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。



すぐ避難!



危険を感じたり、役場等から連絡があったら早めに指定された場所へ避難しましょう!

すぐ通報!



災害が起こったら、すぐに110番か119番に通報しましょう!



あぶない!

災害の危険がある場所には近づかないようにして下さい!



ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。



出典：(一社)日本治山治水協会発行「山地災害に備える」より

近畿中国森林管理局では、治山対策の実施や、国有林の管理経営を通じ、多様で健全な森林を育てることにより、災害に強い地域づくりに取り組んでまいります。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ニュース

松原小学校 松葉かき

【福井森林管理署】 5月12日（金）、福井県敦賀市の松原国有林において、敦賀市立松原小学校の5年生と6年生の児童166名が森林環境教育の一環として松葉かきを行いました。

松葉かきとは、林床に堆積した松葉を除去することにより、富栄養の立地を好む広葉樹などの侵入を予防するとともに、マツの天然

更新を促す作業です。同小学校の児童との松葉かきの実施は、平成26年から継続して行っており今年で4年目となります。

当日は、松原森林官から作業の必要性・注意点などの説明の後、松葉かきを開始しました。児童たちは、二人一組で熊手を使ってかき集めた

松葉をゴミ袋に入れる作業をしました。用意していたゴミ袋200枚があっという間になくなるなど、積極的に松葉かきに取り組んでくれました。児童からは「大変だった。」「楽しかった。来年もがんばりたい。」などの感想があり、松原を守る活動が児童たちにとって楽しみな行事としてしっかり根付いていることに嬉しく思いました。

今回の松葉かきを含む松原の保全や管理、啓発活動は、福井森林管理署と気比の松原100年構想協議会が協力して行っています。松原小学校の児童たちには「松葉かき」の作業を通じて、マツの生態や森林の仕組みを学んでももらいました。彼らが中学生・高校生になっても「気比の松原」に関わる体験をしてもらい、将来にわたって地元の宝を守り育てる意識を高めてもらいたいと考えています。

新緑の「ふれあいの森（釜ヶ峰山 国有林）」で地元児童が遠足

【広島北部森林管理署】 4月28日（金）、庄原市立口北小学校の遠足行事が行われ、1年生から6年生までの児童40名が、釜ヶ峰山国有林に設定している「ふれあいの森 釜峰山森林浴公園」を訪れました。

釜ヶ峰山国有林のふもとで森林教室を行い、森林ボランティア「びほく・森のサポーターズ」による紙芝居や森林クイズで楽しく森林について学んだ後、森林ボランティアスタッフや当署職員

案内のもと、三班に分かれて展望台（釜峰山城跡）を目指して、自然観察しながら遊歩道を散策しました。途中、遊歩道沿いにあるアベマキの巨木では、木の肌に触れたり子どもたちが両手を広げて何人で手がつなげるかなど、木の大きさを実感したり、植物観察では、芽吹いたばかりのコシアブラの葉を嗅ぐと「あっ、これいいにおい!」、サンショウの葉では「うわっ、これくさい!!」と言いながら、みんなで楽しくその特徴を感じ取りました。

展望台に近づくにつれ、遊歩道も少し急になり、これまで元気いっぱいだった子どもたちもめっきり言葉が少なくなりましたが、先に登った子どもたちの声援や上級生のサポートで、全員無事最後まで登ることができました。展望台では、春の暖かな日差しと涼やかな風が出迎えてくれ、とても気持ちよくみんな満足そうでした。

最後、眼下に広がる風景を背景に、児童から「故郷の自然を大切にしたい」とお礼の言葉がありました。子どもたちが次に訪れるのは再来年。今回上級生に手をつないでもらい必死で登った1年生は、きっとたくましくなっているんだろうなと思いながら、子どもたちと同じように満喫した一日でした。

お知らせ

山の日PRイベント 「大阪のまちなかで山遊び！」 の開催について

近畿中国森林管理局と近畿地方環境事務所では、今年の山の日（8月11日）に向けて、都市住民の方々が山に親しみ、山や森林がもたらす様々な恩恵に関心をもっていただくきっかけとするため、下記のとおりイベントを開催いたします。

山の生き物をテーマにした子ども向けワークショップや、国有林をはじめとする森林管理、国立公園管理を担う職員によるトークイベントなど、山への理解を深めていただける内容となっています。

- * 日時 7月2日（日） 10:00～16:00
- * 場所 近畿中国森林管理局1階：森林のギャラリー
- * 内容

1. 山トークイベント「森林官×自然保護官」

大台ヶ原・大杉谷を管理する林野庁の森林官と環境省の自然保護官が、コーディネーターを交え、国有林管理・国立公園管理の現場や、山の魅力・楽しみ方について、それぞれの視点から語り合います。

13:30～14:30 大人向け 50名程度

2. 山を楽しむ子ども向けワークショップ

- ・山の昆虫と触れ合ってみよう・和紙すき体験
- ・木の枝でつくる木端細工 子供向け 随時

3. PRブース 随時

山に関する様々な取り組み、山の魅力などをパネルで紹介します。

4. なりきり！森林官&自然保護官 子供向け 随時
お仕事紹介や、実際に制服を着て気分を味わってもらいます。^{*}やまおと一緒に記念撮影もしちゃおう！

* その他

参加費は、無料です。

1. の大人向けイベントは、当日出入り自由ですが、座席に限りがございますので、事前予約も可能です。会場に駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

* 問い合わせ・申し込み先

近畿中国森林管理局 技術普及課 緑の普及係
TEL：06-6881-3484（平日8:30～17:15）
FAX：06-6881-2055

※やまお：大阪教育大学公式キャラクター

森林のギャラリー（局庁舎1階）

7/3～7/26 白山の豊かな自然

～白山白川郷ホワイトロード開通40周年を迎えて～

【公益財団法人石川県林業公社】

7/3～7/26 平成28年度森林と木材！

フォトコンテスト入賞作品紹介

【企画展示 箕面森林ふれあい推進センター】

花草木

今月の花草木は「ドクダミ」です。

ドクダミは、陰地、湿地に普通に自生している多年草の草本で、草全体に独特の臭いがあります。

ドクダミの名前の由来は、「草全体に特有の臭いがあるため、なにか毒が入っているのではと、ドクダミ（毒溜め）と呼ばれるようになり、このことからドクダミと言われるようになった」、「毒痛みの意味から」などいろいろあります。

また、別名は「ジュウヤク」で、その由来は、馬に与えると十種類の薬の効能があることからとも言われています。

ドクダミは加熱することで臭気が和らぐことから、天ぷらなどにして食されることもあります。特に健康茶としてどくだみ茶は有名です。

また、薬用としても利用されています。

ドクダミの花言葉は、「野生」、「白い追憶」です。花言葉の「野生」の由来は、繁殖力が強く、ちぎれた地下茎からでも繁殖するたくましさで由来するといわれます。

シリーズ『国有林 最前線!』

～地域の憩いの場～ 北中山国有林 兵庫森林管理署



東屋から武庫平野の眺望



休養林を散策するハイカー

採等を実施し、健全な森林づくりを目指して森林整備事業にも注力しているところです。

また本年4月には、「日本美しの森 お薦め国有林」に選定され、今後、さらなる利用促進に向けて、宝塚市をはじめとする関係団体と連携を深めていくとともに、国有林野のPRの場としても市民の皆様提供していきたいと考えておりますので、是非一度足を運んでみてください。

兵庫森林管理署の管轄は兵庫県全域にわたり、30市町に所在する国有林野、面積にして約24,000haを管理経営しています。県最高峰の氷ノ山を含む山岳林から、県南部の都市近郊林まで多様な国有林があります。

今回ご紹介する北中山国有林は、宝塚市のほぼ中央部の都市近郊に位置しており、日本最初の観音霊場として知られる中山寺の奥の院と隣接しています。また、六甲連山、武庫平野、大阪湾と続く雄大な景観が眺望できる展望広場など景観スポットが数多く、交通条件も良好であることから、周辺地域にお住まいの方に限らず、年間数万人の方々がハイキングコースとして利用しています。

兵庫森林管理署では、宝塚市と連携して北中山国有林全域約252haを宝塚自然休養林(レクリエーションの森)に設定し、東屋、看板等の維持管理や関係団体、ボランティア等と協力して美化清掃活動を行い、林内の自然環境の保護や秩序ある利用の促進に努めております。このほか、最近ではカシノナガキクイムシによる被害木等の伐



中山寺奥の院



案内看板

三重森林管理署 尾鷲森林事務所 地域統括森林官 中田 茂巳

尾鷲森林事務所は、三重県南部の尾鷲市に所在し、尾鷲市、紀北町、大台町の12団地、面積にして約10,300haの国有林を管轄しています。

これらの国有林は、「弁当を忘れても傘を忘れるな」というほどの多雨地域であり、その大部分を台高山脈が占め、紀伊半島の急峻な地形とあいまって、大雨や太平洋からの台風時の豪雨などの影響を受け谷筋は断崖絶壁となっています。人を寄せ付けないような溪谷や、モスフォレストと呼ばれるコケの多い森などの豊かな自然環境を創り出しています。

その中で、今回紹介させていただく大杉谷国有林は、日本有数の清流、宮川の源流部に位置し、原生的な天然林と数多くの滝、近畿の秘境とも呼ばれ黒部峡谷、清津溪谷とともに日本三大溪谷の一つにあげられる雄大な大杉谷溪谷を持つ貴重な自然がこの国有林です。

日ヶ岳を取り囲む大台ヶ原を中心に、年間約15万人以上の方々が登山や散策等で訪れる地域であり、大杉谷国有林全体の約1/3にあたる1,391haの地域を「大杉谷森林生態系保護地域」に指定し、その貴重な森林環境の保全に取り組んでいるところです。大杉谷国有林の48%がスギやヒノキの人工林であり、現在も間伐などの森林整備を実施しています。近年はニホンジカによる森林被害も多く発生していることから、「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針」を定め、地域や関係機関と連携しながら捕獲をはじめ様々な取組を行っている場所でもあります。

雄大な自然環境のなかで保全と整備について取り組んでいる大杉谷国有林に、機会があればぜひ一度、足を運んでみてください。

追伸：三重森林管理署のホームページで、「大杉谷国有林からの手紙」で大杉谷の今をお伝えしておりますので、興味がございましたら…よろしくお願いします。



大杉谷森林生態系保護地域(西谷)



大杉谷国有林：堂倉滝

水都おおさか森林の市 2017

森林と木材！

フォトコンテスト



H28 年度近畿中国森林管理局長賞
木材と人の触れあい部門より
『木の学び舎』 橋本直子さん

◆ テーマ ◆
あなたが感動し、伝えたい、森林での発見！
森林での体験！木材との触れあい！

- ① 森林で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）
- ② 森林での体験・活動（里山整備、森林環境教育など）
- ③ 木材と人の触れあい（木材や木製品・木造建築などと人との触れあい）

募集期間 平成29年6月1日（木）
～平成29年8月31日（木）消印有効

表彰 近畿中国森林管理局長賞（3作品）
優秀賞（3作品）
水都おおさか森林の市賞（1作品）

入賞者には、木製賞状と入賞作品を掲載した
平成30年4月始まりのカレンダーを贈呈
(カレンダーは平成30年3月に送付)

作品募集

募集部門に沿った
デジタル組写真
(A4判2枚1組か3枚1組)
とメッセージ(200字程度)
を募集!!

※撮影場所は、
近畿中国森林管理局管内

審査員

只木良也氏（農学博士・京都府立林業大学校校長）
久山慶子氏（フィールドソサイエティー事務局長）
北田研策氏（(公社)日本写真協会会員・宝塚大学特任教授）
三宅英隆氏（水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会会長）
馬場一洋（近畿中国森林管理局長）



H28 年度近畿中国森林管理局長賞
森林での体験・活動部門より
『森の小さな芸術家たち』
いきいき成器保育園 奥村光明さん



H28 年度近畿中国森林管理局長賞
森林で見つけた動植物部門より
『古からの宝物』 金田勇希さん

応募問合せ先 林野庁 近畿中国森林管理局 質面森林ふれあい推進センター 〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8番75号
TEL (050) 3160-6745 FAX (06) 6881-2055 HP http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/ E-mail kc_fureai@maff.go.jp

主催：林野庁 近畿中国森林管理局

共催：水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会

後援：近畿農政局 / 公益社団法人日本写真家協会 / 公益社団法人国土緑化推進機構 / 特定非営利活動法人地球緑化センター / 公益社団法人京都モデルフォレスト協会
局管内 2 府 12 県森林組合連合会等〔森林組合連合会（石川県・福井県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）〕、大阪府森林組合〕、局管内 2 府 12 県木材協同組合連合会等〔石川県木材産業振興協会、木材組合連合会（福井県・京都府・岡山県・広島県）木材協同組合連合会（三重県・奈良県・和歌山県・鳥取県）、木材協会（滋賀県・島根県・山口県）、大阪府木材連合会、兵庫県木材協同組合連合会〕
朝日新聞社 / 産経新聞社 / 日本経済新聞社大阪本社 / 毎日新聞社 / 読売新聞 / NHK 大阪放送局

このチラシは、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています